

ボランティア出前講習依頼手順

1 対 象

江戸川区内小・中学校児童生徒及びPTAなど

2 依 頼 方 法

ボランティアセンターに依頼〔電話〕



電話での相談の時は、学校に依頼書をFAX



依頼条件と体験メニューを参考に、別紙 ボランティア出前講習 依頼書に必要事項を記入し、提出（交換便・FAX）してください。

【 依頼書送付先 】

公益財団法人えどがわボランティアセンター

江戸川区松島1-38-1グリーンパレス新館1階

TEL5662-7671 FAX3653-0740

【 依 頼 条 件 】

- ・申込期限は、実施希望日の1ヶ月以上前にお願いします。但し、申込が重なり対応困難な場合は実施日または内容の変更をすることがあります。
- ・第1、第2希望日、時間、体験内容、実施理由は必ず記入してください。
- ・体験時間ですが指導に行くボランティアは、主婦が中心のためできれば3時間目以降をお願いします。
- ・体験時間は内容にもよりますが、おおむね2時間程度を予定してください。



4、5日中にボランティアより連絡

- ・体験日、打合わせ日等の確認をします。
- ・打合せ日程、時間、体験内容、使用機材等の確認
- ・体験クラスが4クラス以上の場合は、何度か打合せをする場合があります。
- ・場所、施設内を確認するため1回は学校で打合せをします。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験メニューの内容については、学校との事前打ち合わせ時に内容を変更することがあります。



ボランティア出前講習日決定

- ・ボランティアとの打合せ後、使用機材についてボランティアセンターに連絡してください。

（使用機材、貸出日、返却日の確認をします。）

出前!!「ボランティア体験」メニュー

区分	項目	対象学年	内 容
A	肢体不自由 (車イス) 2人で組み 押す人、乗る人	車 イ ス 体 験	
		小学生 1～4年生	○乗ったり押したりせず、車イスの人の話を聞いたり、質問したり実際に触れたりの体験
		5・6年生	○体育館に設置するコース内にて、車イスの乗り方、押し方の体験 ○開き方・閉じ方から段差や迷惑駐輪、点字ブロック体験 ○身体障害者の体験談、質疑応答、交流 ○一人で車イスに乗る
		中学生	○5・6年生の車イス体験に、下記のことを補足します *車イスに乗る生徒は正座で行ないます *2～4段の階段の上げ下ろしを体験
B	視覚障害 (ガイドヘルプ) 2人で組み アイマスクをかける 人、ガイドする人	小・中学生	ガイドヘルプの役割・体験 視覚障害者の体験談
		視 覚 障 害 体 験	
		小学生 1・2年生	*教室等で硬貨を用意し、アイマスクをつけたまま硬貨をさわっていくらの硬貨か当てる *アイマスクをしたまま紙に名前や絵を書いてみる *ブラックボックスにアイマスクをしたまま手をいれ中の物を当てる *数字マットで遊ぶ
		ガ イ ド ヘ ル プ 体 験	
		小学生 3・4年生	*狭い道を歩く⇒駅前を想定し、パイプイスを背中合わせに並べた間を、かに歩き(横歩き)で通る *イスの座り方⇒並べたイスを使い、触らせ確認してから座らせる *点字ブロック⇒点字ブロックの上を白杖で確認しながら、視覚障害者が歩いてみる *歩測 ⇒アイマスクをし決めた位置まで歩き、次に歩測をして歩き、再びアイマスクで歩いてみる *アイマスクをしたまま、紙に名前や絵を書いてみる *生活便利グッズ⇒視覚障害者の生活用品を実際に見て触り、説明を聞く
		5・6年生	○3・4年生のガイドヘルプ体験に、下記のことを補足します *階段昇降 ⇒安全に昇降、誘導するための方法を体験
	中学生	*サント・テーブル・テニス⇒アイマスクをしての卓球体験	
C	聴覚障害	手 話 体 験	
		小・中学生	*聞こえないことで困ることなど、聴覚障害者(ろう者、中途失聴・難聴者)の体験談 *あいさつ、名前などで手話を体験する *聴覚障害者と手話以外でとるコミュニケーションの方法 *聴覚障害者との交流、福祉機器の説明を聞く

☆実際の車イス体験は体力等の関係で小学5年生以上とします。

☆ガイドヘルプ体験・視覚障害体験のアイマスクは、作り方の簡単な説明書(ボランティアセンターにあります)を参考に各自で作ります。